

皆さんに親しまれ定着した ホスピタルギャラリーbe

「美と医の合体」というこれまでにない新しい試みで、2009年10月の西病棟オープン時にスタートした「ホスピタルギャラリーbe」の展示も回を重ね、すっかりみなさんにおなじみになりました。武蔵野美術大学の協力による芸術性の高い作品や地元徳島の作家のみなさんならではの暖かい手作り作品を展示。備え付けのノートには「感動した。楽しみにしています。これからも続けてほしい」といった感想が数多く寄せられ、平成22年11月の仮面ライダー原画展に訪れた飯泉嘉門知事は、「思わず、変身、トオーツとやりたくなりました」と大感激。

今後も地域の皆さまに親しまれる病院を目指して様々な企画に取り組んでいきます。

これまで、次のような展示をしてきました。

「見いだされた“かたち”展1
テーマ:輪ゴム」
2011年2月～5月
【現在開催中】

「ミニチュア・アート展
大林敏子さんの懐かしい
風景の紙細工」
2010年8月～10月

「仮面ライダー紙芝居 原画展
お遍路危うし! ヤミヨロイの恐怖」
2010年11月～2011年1月

「石ころアート展」2010年4月～7月
写真は、河原の石にペイントして動物を描く
石ころアーティストの峠早苗さん



「PAPER～紙による
記述展～」
2010年1月～3月

「WIRE LINE
～針金で描く日常展～」
2009年10月～12月